

## 令和元年(2019年)8月 青果部 主要品目の市況

	種類	品名	市況の概要	2019年8月 数量 (トン)	2019年8月 平均単価 (円)	前年同月比 数量	前年同月比 平均単価
1	野菜	人参	北海道産中心の入荷でした。生育期の干ばつ、高温等の天候不順の影響による作柄不良のため、入荷量はかなり減少しました。平均単価はかなり安く推移しました。	504	95	70%	66%
2		キャベツ	群馬(嬭恋)県産を中心の入荷でした。8月下旬以降に小玉化傾向での出荷となり、入荷量は減少しました。平均単価は前年並みで推移しました。	701	103	86%	102%
3		トマト	7月下旬以降の急激な気温上昇により、一気に市場に出回る状況となり、入荷量は増加しました。平均単価はかなり安く推移しました。	561	242	103%	55%
4		なす	栃木県産、群馬県産中心の入荷でした。天候不順の影響による作柄不良となるも、入荷量は前年並みで推移しました。平均単価はやや高く推移しました。	119	326	99%	106%
5		たまねぎ	北海道産中心の入荷でした。前年と比べて、入荷量はかなり増加しました。平均単価は安く推移しました。	705	86	125%	80%
6	果実	西瓜	山形県産、秋田県産中心の入荷でした。7月の天候不順の影響により、入荷量はやや減少しました。平均単価はやや高く推移しました。	513	159	89%	104%
7		デラ	山形県産中心の入荷でした。7月の天候不順の影響により、入荷量はかなり減少しました。平均単価はやや高く推移しました。	19	706	75%	107%
8		幸水	茨城県産、千葉県産中心の入荷でした。天候不順の影響により、入荷量は減少しました。平均単価は高く推移しました。	316	373	85%	118%

## 【増減基準】

- ①並み、横ばい:(+)0~2%
- ②やや増加(減少):(+) 3~10%
- ③増加(減少):(+)11~20%
- ④かなり増加(減少):(+)21~50%
- ⑤大幅に増加(減少):(+)51%以上